

2023年度 第2回日本科学教育学会研究会(若手活性化開催)プログラム

[テーマ] 次世代の科学教育研究

[日時] 2023年12月9日(土) 12:30~18:30

[会場] 九州大学 伊都キャンパス(およびオンデマンド)

[日程]	12:00-12:30	受付
	12:30-12:40	開会挨拶
	12:40-14:40	企画セッション(おきあがり先生~私が伝えられるヒント~)
	14:40-15:00	休憩
	15:00-15:40	ポスター発表セッション1(A01-A20)
	15:40-16:00	休憩
	16:00-16:40	ポスター発表セッション2(B01-B21)
	16:40-17:00	休憩
	17:00-17:40	ポスター発表セッション3(C01-C21)
	17:40-18:00	ベストプレゼンテーション投票
	18:00-18:20	開票および閉会挨拶
	12:40-14:40	企画セッション(おきあがり先生~私が伝えられるヒント~) 概要:研究人生は「七転び八起き」です。本企画では、登壇者の先生方からそれぞれ転んで起き上がった経験を提供していただき、それぞれのライフステージで遭遇する困難とその乗り越えた経験を共有します。 登壇者(敬称略) 1転び:趣旨説明(舟橋友香・岡本紗知) 2転び:大学院生って大変(中野ひかる・箕矢明音) 3転び:リジェクトって大変(山口悦司) 4転び:学校現場で研究するのって大変(倉元賢一) 5転び:研究者になるって大変(小野寺かれん) 6転び:研究者になってからも大変(川崎弘作)
	14:40-15:00	休憩
A01	15:00-15:40	図形領域における社会的価値観に着目した授業の具体 ○内藤 真人(愛知県一宮市立木曾川東小学校)
A02	15:00-15:40	算数科における周長と面積の関係の理解を促す教材開発 ○下村 勝平(奈良市立登美ヶ丘小学校)・坪内 ちひろ(島根大学学部生)
A03	15:00-15:40	中学校数学科の学習意義に関する一考察~教員を対象とした質問紙調査の結果から~

- 池田 遼太(明治学院大学心理学部)・辻 宏子(明治学院大学)
- A04 15:00-15:40 「論理国語」教科書にみる統計的リテラシーの学習
- 古賀 竣也(崇城大学)・大谷 洋貴(大妻女子大学)
- A05 15:00-15:40 中学校数学科第1学年「正負の数」におけるUDLに基づく教材開発と実践
- 原田 菜月(島根大学)・御園 真史(島根大学)
- A06 15:00-15:40 離散量から連続量への展開に着目した二元一次方程式と一次関数の接続教材の開発研究
- 森川 貴文(岡山理科大学)・福田 博人(岡山理科大学)
- A07 15:00-15:40 高等学校数学科における学習者特性とPS-Iの概念的知識への効果の関係
- 樋口 翔太(東京理科大学大学院)・渡辺 雄貴
- A08 15:00-15:40 夏休みの保健だより作りを通した中学生による社会批判的モデリング:暑さ指数を題材として
- 石橋 一昂(岡山大学)・上ヶ谷 友佑(広島大学附属福山中・高等学校)・服部 裕一郎(岡山大学学術研究院教育学域)
- A09 15:00-15:40 分野別ミニ課題研究における生徒の探究活動と興味・関心の解析
- 朝倉 彬(お茶の水女子大学附属高等学校)・山本 夏菜子(お茶の水女子大学附属高等学校)・十九浦 美里(お茶の水女子大学附属高等学校)
- A10 15:00-15:40 類推の過程におけるベースの捉え方の変容についての分析に関する考察
～小学校第三学年における二等辺三角形を作る活動を事例として～
- 小泉 泰彦(茨城県つくば市立みどりの学園義務教育学校)
- A11 15:00-15:40 数学的交渉における志向性への影響に関する一考察
- 下村 岳人(島根大学)・下村 早紀(松江市立法吉小学校)
- A12 15:00-15:40 科学博物館におけるこどものためのAR展示支援システムのデザイン
- 王 彦博(多摩美術大学大学院)・徳野 稀太(多摩美術大学大学院)・岩崎 誠司(国立科学博物館)・稲垣 成哲(立教大学)・楠 房子(多摩美術大学)
- A13 15:00-15:40 マルチモーダルインタラクション技術を活用した子どものための博物館教育支援デザイン
- ODAI CHENYI(多摩美術大学大学院)・ダイ イコウ(多摩美術大学大学院)・岩崎 誠司(国立科学博物館)・稲垣 成哲(立教大学)・楠 房子(多摩美術大学)
- A14 15:00-15:40 日本型STEM/STEAM教育の成立に向けた統合の度合いに関する課題
- 坂口 武典(岡山理科大学)・福田 博人(岡山理科大学)
- A15 15:00-15:40 SCATを用いたSTEAM教育の導入に伴う教員の意識調査ー中学校理科教員を事例としてー
- 木村 優里(明治学院大学)・辻 宏子(明治学院大学)・森田 裕介(早稲田大学)

- A16 15:00-15:40 時計反応を利用して水溶液の濃度を推定する教材開発
○松岡 雅忠(福岡大学)・實藤 匠汰(福岡大学)
- A17 15:00-15:40 児童を対象とした昆虫の進化に関する学習の実践報告
—国際科学論文の構成理解への挑戦—
○中村 隆(粕屋町立粕屋西小学校)・新井 しのぶ(中村学園大学)・石田 靖弘(中村学園大学)
- A18 15:00-15:40 小学校理科において知的謙虚さを育成するために重要な視点は何か
○川崎 弘作(岡山大学)・雲財 寛(東海大学)・中村 大輝(宮崎大学)・中嶋 亮太(倉敷市立万寿東小学校)・橋本 日向(岡山大学)
- A19 15:00-15:40 科学における倫理的振る舞いの定式化とその検討:
コミュニティ・アイデンティティ・規範を手がかりに
○下平 剛司(福岡大学)
- A20 15:00-15:40 意図されたカリキュラムにおいて涵養されるべき数学観の一提案:
達成されたカリキュラムに基づいて
○浅越 天真(岡山理科大学)・福田 博人(岡山理科大学)
- 15:40-16:00 休憩
- B01 16:00-16:40 折り紙を用いた教授・学習の数学教育的意義:文化に焦点を当てて
○花房 和輝(岡山理科大)・福田 博人(岡山理科大)
- B02 16:00-16:40 デジタル教材のためのメタファー表現の一考察
～低学年「数と計算」における開発～
○臼井 悠馬(明治学院大学心理学部)・辻 宏子(明治学院大学)
- B03 16:00-16:40 量分数場面にみる他者意識に関する一考察
○山田明日可(松江市立母衣小学校)
- B04 16:00-16:40 算数科にみる援助要請者の評価に関する一考察
○中野 ひかる(島根大学大学院教育学研究科)
- B05 16:00-16:40 算数科における投影的な見方に関する調査研究
○箕矢 明音(島根大学教職大学院)
- B06 16:00-16:40 キャラクター作成時に潜む比率
○小林 杏(明治学院大学心理学部)・辻 宏子(明治学院大学)

- B07 16:00-16:40 算数科における「もと」という語の使用の特徴に関する研究
○升谷 有里(島根大学教育学部)・下村 岳人(島根大学)
- B08 16:00-16:40 BCCWJの教科書コーパスを用いた文章表現の意味理解の限界についてのパイロット分析
○紙本 裕一(東京未来大学)・福田 博人(岡山理科大)
- B09 16:00-16:40 グループ学習における数学的討議の成立要件
—小学校第4学年における平行四辺形認知の段階を高める学習を事例として—
○板垣 大助(島根大学教職大学院)
- B10 16:00-16:40 科学技術科に併置する新設理数科カリキュラムの開発
○松本 大輝(東京都立科学技術高等学校)・森田 直之(東京都立科学技術高等学校)・荒 伸太郎(東京都立科学技術高等学校)・村山 高志(東京都立科学技術高等学校)・會田 雅一(東京都立科学技術高等学校)・藤本 生(東京都立科学技術高等学校)・金子 雅彦(東京都立科学技術高等学校)・菅原 久法(東京都立科学技術高等学校)・久保 剛(東京都立科学技術高等学校)
- B11 16:00-16:40 科学的根拠に基づく咀嚼行動の判断を促す授業の改善:
小学校第4学年「人の体のつくりと運動」における「Argu-made」の導入
○松山 友香(兵庫教育大学大学院)・神山 真一(大阪体育大学)・舟生 日出男(創価大学)・山本 智一(兵庫教育大学大学院)
- B12 16:00-16:40 自然選択の理解を評価する主要尺度の開発の変遷
○山野井 貴浩(文教大学)
- B13 16:00-16:40 企業の次世代育成担当者のSTEAM分野における学校との連携意欲に関する調査
○牧澤 遼(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)・加納 圭(滋賀大学)
- B14 16:00-16:40 『課題研究』を中心とした「主体的な学び」の誘発と持続のための探究学習プログラム
○森田 直之(東京都立科学技術高等学校)・石川 信太郎(東京都立科学技術高等学校)・保坂 勝広(東京都立科学技術高等学校)・渡邊 博道(東京都立科学技術高等学校)・幕田 斗那加(東京都立科学技術高等学校)・藤森 晶子(東京都立科学技術高等学校)・巻木 大輔(東京都立科学技術高等学校)・佐藤 敬崇(東京都立科学技術高等学校)・齊藤 拓也(東京都立科学技術高等学校)・藤川 孝(東京都立科学技術高等学校)・築瀬 立史(東京都立科学技術高等学校)・菅野 一喜(東京都立科学技術高等学校)・高橋 大輔(東京都立科学技術高等学校)・富高 葵(東京都立科学技術高等学校)・伊藤 翔(東京都立科学技術高等学校)・鈴木 憲征(東京都立科学技術高等学校)・藤田 瑛恵(東京都立科学技術高等学校)・井上 奈つ希(東京都立科学技術高等学校)・菅原 久法(東京都立科学技術高等学校)
- B15 16:00-16:40 ただ一人の科学教育研究者になっていく
—複線経路等至性アプローチを用いた軌跡の描出—
○荒谷 航平(北海道教育大学札幌校)・小川 博士(白鷗大学)・小野寺 かれん(京都光華女子大学)・川崎 弘作(岡山大学)・工藤 壮一郎(広島大学大学院)・三浦 広大(高千穂中学校)

B16	16:00-16:40	<p>馴染みのない研究方法論を学ぶ過程にみる科学教育研究者の変容に関する事例的考察</p> <p>○舟橋 友香(奈良教育大学)・新井 しのぶ(中村学園大学)・雲財 寛(東海大学)・岡部 舞(大阪教育大学)・下平 剛司(福岡大学)・田中 秀志(東京理科大学)・中村 大輝(宮崎大学)</p>
B17	16:00-16:40	<p>STEAM教育におけるTechnologyとEngineeringの考え方</p> <p>○中原 久志(大分大学教育学部)・上之園 哲也(弘前大学)・森山 潤(兵庫教育大学)</p>
B18	16:00-16:40	<p>中学生の科学への興味の男女差 —ROSE(2003)とROSES(2023)の比較—</p> <p>○岡部 舞(大阪教育大学)・長沼 祥太郎(九州大学)・中村 大輝(宮崎大学)・川崎 弘作(岡山大学)・石飛 幹晴(広島大学)</p>
B19	16:00-16:40	<p>理科に対する生徒の興味・態度に関する比較研究 —国際調査 ROSE とROSESの比較を通して—</p> <p>○長沼 祥太郎(九州大学)・岡部 舞(大阪教育大学)・中村 大輝(宮崎大学)・石飛 幹晴(広島大学)</p>
	16:40-17:00	休憩
C01	17:00-17:40	<p>数学教育における算額の図形問題の活用に関する一考察 —作図の位置づけに着目して—</p> <p>○三橋 可奈(千葉大学大学院)</p>
C02	17:00-17:40	<p>数学的問題解決における真正性を視点にした再教材化の試み —「一次関数の活用」を事例に—</p> <p>○綿谷 一恵(奈良教育大学教職大学院)・舟橋 友香(奈良教育大学)</p>
C03	17:00-17:40	<p>算数科におけるM-GTAにより生成された理論の提案</p> <p>○下村 早紀(松江市立法吉小学校)・下村 岳人(島根大学)</p>
C04	17:00-17:40	<p>算数授業における言葉の受動的な使用に至るまでの学習者の学びの特徴 —第6学年「線対称・点対称」の学習を事例に—</p> <p>○土井 孝文(奈良教育大学大学院教育学研究科院生)</p>
C05	17:00-17:40	<p>数学II「図形と方程式」における構想・見通しを立てる活動の効果の検討 —1人1台端末を活用して—</p> <p>○河田 勇希(島根大学)・御園 真史(島根大学)</p>
C06	17:00-17:40	<p>農業体験学習による自然への愛着感の育成</p> <p>○山口 智美(放送大学大学院)</p>
C07	17:00-17:40	<p>デジタルハンズ・オン展示「AR Sandbox」における親子の展示体験中の会話分析</p>

- 森 沙耶(北海道大学)・奥本 素子(北海道大学)・江本 理恵(北海道大学)
- C08 17:00-17:40 科学技術の社会問題としてのゲノム編集を題材とした小学生向け教育プログラムの評価:リスク重視傾向の変化過程の検討
- 口羽 駿平(神戸大学)・山口 悦司(神戸大学)・坂本 美紀(神戸大学)・山本 智一(兵庫教育大学)・原 愛佳(神戸大学)・近江戸 伸子(神戸大学)・村山 留美子(神戸大学)・俣野 源晃(神戸大学附属小学校)・澁野 哲(神戸大学附属小学校)
- C09 17:00-17:40 適切な回帰推定量の使用が学力調査の推定精度を向上させる効果の検討
- 中村 大輝(宮崎大学)
- C10 17:00-17:40 教育システムの信頼を向上させる教育エージェントの背景の調査
- 藤堂 健世(関東学院大学)・高橋 聡(関東学院大学)・吉川 厚(関東学院大学)・山村 雅幸(東京工業大学)
- C11 17:00-17:40 現職教員の防災教育指導力の向上を目指した避難訓練ゲーミフィケーションプログラムの開発
- 田中 達也(神戸常盤大学)・寺田 努(神戸大学)・大西 鮎美(神戸大学)
- C12 17:00-17:40 日本の中学生における自然災害への防災意識の変容
-ROSEおよびROSESの分析-
- 田中 秀志(東京理科大学)
- C13 17:00-17:40 小学校理科における統計教育:「振り子の運動」単元の教科書分析を通して
- 大谷 洋貴(大妻女子大学)
- C14 17:00-17:40 数学科教育実習生の授業設計の過程に関する研究
—インストラクショナルデザイン諸理論に着目して—
- 中村 謙斗(東京理科大学大学院)・御園 真史(島根大学)・渡辺 雄貴(東京理科大学大学院)
- C15 17:00-17:40 学習指導案細案の傾向・特徴についての分析
- 野田 尚吾(東京未来大学)・後藤 朱(東京未来大学)・紙本 裕一(東京未来大学)
- C16 17:00-17:40 高校生に対する定理再発見型授業の試み
- 小林 真人(秋田大学)・小林 弥生(聖霊女子短期大学)
- C17 17:00-17:40 通信制高校数学科における単位修得率向上を目指した個別化教授システム(PSI)によるコースデザインと実践
- 加藤 圭太(早稲田大学大学院)・森田 裕介(早稲田大学)
- C18 17:00-17:40 3DCG恐竜教材を用いた授業実践とその評価
- 飯田 和也(駒場東邦中学高等学校)・久保田 善彦(玉川大学)

- D01 オンデマンド 理科教育における米粉粘土を用いたSTEAM教育の実践
- 金川 弘希(大阪市立墨江小学校)・奥山 翔(大阪市立苗代小学校)・川俣 尚之(堺市立美原西小学校)・仲矢 史雄(大阪教育大学)・萩原 憲二(大阪青山大学)
- D02 オンデマンド 中学校数学科における関数の意味の理解を促す実践研究
- 草桶 勇人(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)
- D03 オンデマンド 算数科授業における振り返りを用いた教師の介入に関する考察
—教授学的状況理論の視点から—
- 中尾 真也(関西福祉科学大学)・岡崎 正和(岡山大学)
- D04 オンデマンド 沖縄の文化に関連する理科の授業
- 山川 結衣(南城市立玉城中学校)
- D05 オンデマンド ヴァンオーベルの定理を題材にした四角形の性質の探究
—図形の対応表を用いた実験数学教材—
- 松本 昌也(市川学園市川中学校)・市川高等学校)・清水 克彦(東京理科大学)
- D06 オンデマンド 質的研究勉強会における学びを現場の教員はどう解釈したのか？
- 渡辺 理文(東京学芸大学)・後藤 昭彦(青梅市立霞台小学校)・森川 大地(西東京市立栄小学校)
- D07 オンデマンド 数学的理解を促す授業の開発と評価
—数学A「場合の数と確率」における数学的対象間の関係の理解—
- 赫 真央(大分大学教育学研究科専門職学位課程教職開発専攻)・竹中 真希子(大分大学)
- D08 オンデマンド 立体視/360度動画をウェブ上で紹介する仕組みの構築と活用事例
- 秋山 綱紀(金沢工業大学)・西岡 圭太(金沢工業大学)・中村 晃(金沢工業大学)